

楽ら読く楽ら書く 第27号

平成27年4月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976

HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

おすすめの本

『賢者の愛』 山田 詠美 (著) Fヤマ

谷崎潤一郎の小説『痴人の愛』は、28歳の堅物に見える主人公の譲治が、15歳の美少女のナオミを自分好みに育て上げようとする物語です。そして、谷崎潤一郎賞も受賞した山田詠美が作家生活30周年目に描いたのは、『痴人の愛』にも通じる、いびつな男女の愛憎劇。

裕福な家庭に生まれ周囲からの愛を一身に受けて育った真由子から、初恋の人をはじめ大切な人たちを奪い取った幼な馴染みで親友の百合。憎しみの育て方を教えてくれた百合の息子に『痴人の愛』から「直巳」と名付けた真由子は、復讐のために22歳年下の直巳を“調教”することにします。赤ん坊の頃から母親とは違うやり方で、面倒を見て世話を焼いてきた真由子と直巳の関係は、単なる、年上の女と彼女にあこがれる少年とではなく、特殊な色合いを帯びていきます。

流れるような美しい文体で描かれる喜劇と悲劇を、どうぞご堪能ください。

『エヴリシング・フローズ』 津村 記久子 (著) Fツム

ヒロシは小柄で絵が好きな地味めの中学3年生。クラス替えで話すようになったヤザワ（背が高くて大人びてる）は謎が多い。クラスメイトにはヒロシの気になる女子（ムダに元気すぎる）や、ヒロシよりも絵が上手い地味な女子（自分より上手くてへこむ）もいる。

仲良くなったヤザワの悪い噂が徐々に広がっていき学校中から敵視されるなか、ある事件がおこり行動を起こすヒロシ。

母親がウザイこと、自分が正しいと主張し攻撃してくる人、親の離婚、再婚、虐待、好きなことにのめりこむこと、一人ではどうにもできないこと。様々な状況のなかで、すぐそばにいる誰かが困っている時、救いの手を差し伸べること、助ける勇気を出せるかどうか。悩んで考えて、休んだり動いたりする、大阪のIKEA周辺に住む中学3年生たちのおはなしです。小学生の頃のヒロシが出てくる『ウエスト・ウイング』も合わせてどうぞ。